

読売新聞平成28年5月9日付



地元住民らに披露された桃太郎山車(8日、宇都宮市新町で)

## 桃太郎山車

### 103年ぶり巡行

お披露目巡行は8日午前10時50分頃、同市新町を出発。犬、猿、キジの格好をした住民や、法被姿の子供たち約300人に導かれながら、午前と午後の2回に分けて西原小学校周辺を行した。高さ4尺75、重さ約1・4トンの山車が悠然と進む姿に、沿道の市民は歓声を上げていた。

西原地区連合自治会の中山剛夫会長(76)は「地域が協力して絆を深めることができる」と感慨深げ。南新町下組自治会元会長の高瀬恒二さん(84)は「山車を復活させていただき、こんなにありがたいことはない」と感激していた。

宇都宮市の市民グループによって修復された「桃太郎山車」が8日、同市の西原地区で103年ぶりに巡行した。桃太郎山車は宇都宮二荒山神社の菊水祭で大正2年(1913年)まで活躍した記録が残る。市民グループ「宮のにぎわい 山車復活プロジェクト」が、西原地区の南新町下組自治会から山車の残存部材を譲り受け、約2年半かけて修復した。同プロジェクトは2年前、菊水祭で活躍した「火焰太鼓山車」を修復しており、桃太郎山車は2台目になる。

宇都宮市の市民グループによって修復された「桃太郎山車」が8日、同市の西原地区で103年ぶりに巡行した。

桃太郎山車は宇都宮二荒山神社の菊水祭で大正2年(1913年)まで活躍した記録が残る。市民グループ「宮のにぎわい 山車復活プロジェクト」

が、西原地区の南新町下組自治会から山車の残存部材を譲り受け、約2年半かけて修復した。同プロジェクトは2

年前、菊水祭で活躍した「火焰太鼓山車」を修復しており、桃太郎山車は2

年前、菊水祭で活躍した「火焰太鼓山車」を修復しており、桃太郎山車は2

年前、菊水祭で活躍した「火焰太鼓山車」を修復しており、桃太郎山車は2